

2019年（平成31年）

第7回 東日本女子中学生野球 マドンナジュニア交流大会要綱(案)

- 目 的 野球を通じ子供たちの健全な育成を求め、また、少子化に伴う野球人口の減少に対し、東日本地域の女子野球チームと交流することにより2020年の東京五輪で3大会ぶりに復活した野球競技を盛り上げることを目的にする。
- 主 催 NPO法人北多摩の少年野球を育む会
- 大会役員 名誉会長 広瀬 成留（NPO法人北多摩の少年野球を育む会 理事長）
- 大会会長 松本洋平（衆議院議員）
- 大会委員長 井上 俊夫（NPO法人北多摩の少年野球を育む会 専務理事）
- 大会役員 NPO法人北多摩の少年野球を育む会 理事
- 参加地域 宮城、岩手、茨城、千葉、埼玉、山梨、長野・神奈川、東京、愛知、他（予定）
- 大会日程 平成31年2月9日（土）・10日（日）11日（祝）
- 大会会場 調布基地跡地野球場、他 2面
- 開会式 平成31年2月9日（土）13時より 調布基地跡地野球場
プラカードを持参してください。（開会式前も試合可）
- 参加資格 平成31年2月現在で中学3年生～小学6年生までの女子
- 参加費 最初の1試合目は5千円（プログラム代含む）以降、1試合ごと3千円。
開会式時にお支払ください。
- 試合時間 7回戦（先攻後攻の勝ち負けに関わらず80分を過ぎた場合、そのイニングの終了時点で試合終了とする。）延長及びコールドゲームは適用しない。
- 試合ボール ケンコーM球とし、試合球は両チームの合意のもとで決める。ボールは2球ずつ出し合いとする。

| | |
|------|---|
| ベンチ | 試合予定表に掲載。 |
| 攻 守 | 両チームによるジャンケンで決定する。 |
| 人 数 | チーム全員をベンチに入れることができる。また出場選手数の制限も設けない。指導者等は全員ベンチ入りできるが、帽子は原則同じ帽子を被ること。また服装はスポーツマンらしいものを着用する。 |
| 背番号 | 選手は原則全員つけること。指導者はこの限りでない。またユニフォームについても同様とする。(合同チーム及び小学生選手の場合、ユニフォームが同一でなくてもよいものとする) |
| スパイク | 金具及びポイントのスパイク及びアップシューズとする。 |
| 投 手 | 投手の投球イニングは1日7イニングとする。なお3分の1イニングでも1イニングと計算としてください。(指導者が安全性に確保すること) |
| 捕 手 | 捕手はマスク・レガース・プロテクター・ヘルメットを着用すること。 |
| バット | JSBBのマークが付いたものを使用する(複合可)。 |
| 審 判 | 球審は本部が行いますが、塁審は当該チームで行うものとする。 |
| その他 | <p>①メンバー表は基本的には提出すること。ナシも同意あればOK。(9人の参加可)</p> <p>②ボール回しは時間の都合上、最初のイニングのみとする。</p> <p>③無用のタイム及び抗議は交流戦という趣旨を考慮して試合進行に協力すること。</p> <p>④試合後のグラウンド整備は両チームで行うこと。</p> <p>⑤試合後の挨拶はホームベース上のみとし、相手チーム及び役員席・応援団への挨拶は行わないものとする。</p> <p>⑥次の先発投手に限り、前の試合が4回終了時点か1時間を経過した場合にブルペンを使用できる。</p> <p>⑦次の試合の間隔は20分を目安に行う。</p> |